

これからの健康的な 家づくりの基準は、「NE-STな家」。

高断熱・高気密な家づくりにより、健康的で快適な暮らしができることがわかってきました。そこで鳥取県では、独自の高断熱・高気密住宅の基準を設けました。家から健康になる「NE-STな家」づくりを、鳥取県からはじめていきましょう。

※「NE-ST」は、NEXT STANDARD（これからの時代の標準）の頭文字から名付けました。

「NE-STな家」とは、

- 高断熱・高気密（そして適正な気流と換気）の家。
- より少ない光熱費で経済的に家の中をまるごと冷暖房できる。
- 家の中の室温差が少ない。
- 隙間が少ないので、いちど冷暖房した温度を外に逃がしにくい。
- 隙間から冷気が入り込まず、結露によるカビなどで空気を汚さない。
- 家全体が暮らしやすい温度に保たれるので、より活動的になれる。

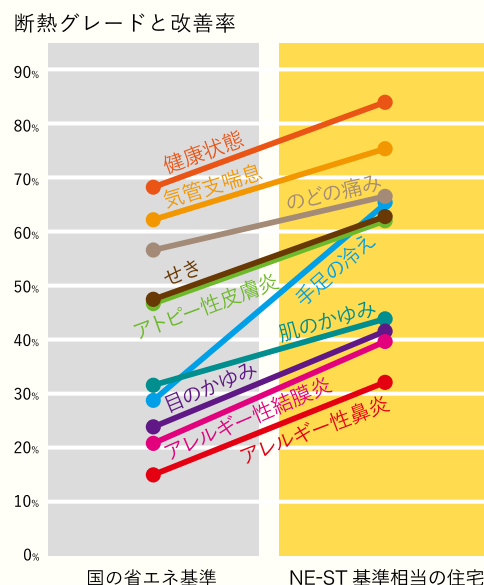
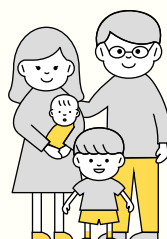


「NE-STな家」で、みんな健康家族。

冷えは万病のもと。高断熱・高気密で、家の中全体が暮らしやすい温度（暖かさ）に保たれることで免疫力が高まります。また、結露防止によるきれいな空気が、アレルギーやアトピー、気管支喘息などを予防・改善します。とくに冬、暖かい居間から寒なお風呂場やトイレへ移動した際の急激な温度変化によるヒートショックなどの重大な事故も予防できます。家は人生の中で最も長く過ごす場所。つまり、健康にとって最も大切な場所といえます。

住宅断熱により
様々な病気を
予防・改善する。

$$\text{改善率} = \frac{\text{新しい住まいで出なくなった人}}{\text{前の住まいで出ていた人}}$$



出典：健康維持がもたらす間接的便益（NEB）を考慮した住宅断熱の投資評価 日本建築学会環境系論文集、Vol.76.No.666.2011.8（慶応義塾大学伊香賀教授他）